



2024年11月10日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386
清瀬事業所/ふわっとん
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18
TEL&FAX:042-497-9481
<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

こぶし祭りへのたくさんのご参加ありがとうございました！



完璧より完了

理事長 貝沼 寿夫

先日のごぶし祭りには、たくさんの方々のご参加をいただきました。またご家族や地域の皆様、ご出演頂いた演者やボランティアの方々、皆さまのご協力ご支援のおかげで無事に終えることができました。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

さて先月の中旬まで、日中はTシャツでも過ごせるほどの気候でした。今年の冬の気候は？と調べていると、日本気象協会では、今年から2年先長期気候予測を提供しているそうです。様々なビジネスシーンにおいて、意思決定には役立つのでしょうか。また、毎年起こる水害などの被害が少しでも抑えられ減災対策にも貢献されるよう期待をします。こうしたビッグデータの活用やAIなどの進化など、高度な解析力や予測力が今後も発展し続け、精度も向上するのでしょうか、どこまでいってもこうした予測が100%完璧なものとはいかないものです。

私はA型ですが、その特徴として些細で神経質の完璧主義者が多いとされていきます。自分の行動を思い起こしてみますと、ああ確かにと思える部分も若干あります。反面、どれだけ完璧なものが出来たのか、どれだけ完璧に仕事が出来たのかと自分に問いかけてみても、答えはほぼ0しか浮かびません。完璧を目指したところで完璧は生まれないと言う事実を突きつけられた気がします。

障害者支援現場での経験でも、準備を入念にして、これで上手くいくだろうと行ったことが、大きく期待を裏切る結果だったことも数多くあります。また昨日まで上手くいっていたことが、たった1日で覆されたことも山ほどありました。人が人を支援する中で、もちろん先達の方々の実践や参考とする理論や技術を駆使してはみるものがあるからこそ、そうしたものがすべて合致して完璧にことが運ぶこともありません。

そもそもこの世の中には、完璧なものなど何一つ存在しないのかもしれない。AIしかり自動車の自動運転しかり、日々技術革新がなされているという事は、どこまで行っても、完璧の更上の完璧を目指していくのです。これが生身の人間であったらと思うとぞっとします。人は完璧でないからこそ、お互いに協力し合い助け合える存在になりうるものなのだと思います。

また、完璧を求めるあまりに準備や考え悩むことに終始し、なかなか実行に移せず機会を逸してしまうというケースもよく目にします。支援の場においては、タイミングや俊敏さも時には求められます。完璧を目指すよりも、まずは手と足を動かし、素早く最低限の完了に到達し、そこから精度を上げていくことも重要なのではないのでしょうか。そんな訳で私がお届けするこの文章は、完璧ではなく完了を自らに課しておりますので、皆様には寛大な目でお読みいただけますと幸いです。



～こぶし祭りにご来場いただいた皆様へ向けて～

先日のごぶし祭りにご来場いただいた皆様へ、利用者さんお手製のメッセージカードをお配りしました。作業の合間に思い思いのイラストやメッセージをかき、個性あふれる素敵なメッセージカードができあがりました！なかには一生懸命作ったあまり、持って帰りたいと泣きだしてしまう方も・・・
メッセージカードを手に入れられなかった方もほんの一部ではありますが、ぜひご覧ください♪ →



ねえねえ、きいて

生活支援員 宮島 千夏

今年度から活動で関わる事が増えたAさん。Aさんは私が出勤した際やすれ違った際に「今日〇〇やったよ！」と活動でやったことを教えて下さったり、大雨が降った日は「すごい雨降ったよ！」とジェスチャー混じりで伝えて下さったりします！Aさんと会話できる時間が増えて嬉しいです！😊



夕方の余暇時間に散歩に行きました！
夕日と笑顔のベストショットです📷
(江島 響)

居心地の良い場所

月に1回、義母は談話室で私たち夫婦を待っています。施設に入所中の義母との、15分間の面会時間です。「今日は何をしたの？」と聞くと、「皆で買い物に行ってきた」「ひとりでバスに乗って立川まで行ってきた」などと、良い表情でいきいきと答えてくれます。きっと今より少し若くて元気だった頃に戻っているのでしょう。

そして15分が経過するとタイマーが鳴るので「それじゃあまたね」と、エレベーターまで送ってくれます。途中で会う職員さんに「私の弟（本当は、息子）と、そのお嫁さんなの！」と嬉しそうに言いながら。

毎回、認知機能の低下を実感する15分なのですが、「帰りたい」と言った事はありません。「居心地がいい」のだと思います。わざわざ言葉には出さなくても、家族は表情や言動で知る事が出来ます。こぶしの利用者さんにとっても、家族の皆さんがそう感じて頂けるような施設でありたいと思う出来事でした。

看護師 新井 朋子

フォトニュース ～10月の様子～

感染症対策

☆プチ旅行に行きました☆

☆活動・余暇風景☆



長い残暑が過ぎ去り、短い秋を迎えようとしています。朝晩は肌寒い日が増え、どこことなく冬の気配も感じられるような日々を送りながら、感染症の憂いを感じている今日この頃、皆様はどうお過ごしでしょうか？

巷ではコロナの字面を見ることも少なくなりましたが、方々に目をやるといまだクラスターに近い被害を出して、私達と同様の施設等では利用者さん達の生活を脅かしているところもあるようです。因みにこぶしでは利用者さん、職員含めここ数ヶ月、コロナ罹患者は見られていないと思います。ですがこれからの季節はコロナ以外でも、インフルエンザが怖い時期になってきますね。

これらの感染症から身を守る為には、感染症対策が必要です。うがい手洗い、居住空間の清掃、空気の入替えや換気、免疫力を上げるための運動やサプリメントを取る方もいらっしゃるかも知れません。独自の感染症対策を講じている方の中にはいるかと思われま。対策を挙げていくと枚挙にいとまがないと思いますが、本当に効果がある対策とは何でしょうか？また、いろいろな対策を講じても病気にかかる人はかかってしまうし、何をしても病気にならない人もいます。この差は何なのか…。答えは無いかと思いますが、感染症対策とは感染症にかかりにくい体質を獲得することにも繋がると考えられます。

利用者支援においては、日常生活の中に色々な感染症対策を盛り込む事で、生活を続けている事が感染症対策になっている、自然と感染症にかかるリスクを下げる事を意識しています。

ちなみに私の一番の感染症対策は、『私は感染症になんかかからない！』と言葉に出す、念じるなどして寝てしまう。昔から『病は気から』という言葉がある様に、気合でどうにかなると思込んでいます（笑）。皆さんはどんな感染症対策を行っていますか？

コロナ禍が落ち着き、以前の生活様式が戻ってきたと感じている中、いつまた起こると知れない感染症に向けて、皆さんの日々の感染症対策を確立していきたいですね。

フロア支援部部長 土橋 龍介

こぶし医療通信 No.6

「インフルエンザの季節がきた!!」
肌寒くなってきてインフルエンザが流行る季節になってきましたね。

感染者の咳やくしゃみなどで飛び散った、ウイルスを含む粒子を鼻や口から吸い込むことで感染します。感染力が強く飛沫・接触感染が多いと言われています。発熱や咳、倦怠感などの症状がみられた際は早めに医療機関の受診をお願いします。

「手洗い、うがいは感染予防の基本!!」
今年も皆さん、気を付けていきましょう😊💡

看護師 大野 好子

こぶし・ふわっとなは AED を設置しています



ライフパートナーこぶしとライフパートナーこぶし清瀬事業所には、AED（自動体外式除細動器）を設置しています。

いざというときの救助の為、定期的な操作訓練も実施しています。氷川台自治会の防災マップにも、こぶしにAEDがあることを記載していただいております。地域の防災と安全に役立てることができるよう取り組んでいます。どちらも事務室に設置していますので、緊急の際にはお声がけください。



二刀流

今年のスポーツニュースも大谷翔平選手フィーバーでしたね。今シーズンは右肘手術の影響で打者に専念した1年でしたが、投手と打者の二刀流として大谷選手はプロ野球、メジャーリーグの歴史を塗り替えてきました。

そんな大谷選手に憧れて、私が今年度こぶしで掲げている目標があります。それは、「支援と課の業務二刀流、です。行事企画課など課の業務に追われると、仕事の割合が「2：8」になっている時期がありました。しかし、生活支援員として支援は要、また一番にやりがいを感じる利用者さんの支援をしっかりやりたいという思いから、今年度は「支援と課の業務二刀流、を意識し、どちらも自分の能力を全て出し切って輝けるよう取り組んでいます。

今年度8ヶ月が経ちましたが、二刀流が達成できていると実感しています。大谷選手は今年、メジャーリーグ初のシーズン50本塁打+50盗塁を達成しました。年々レベルアップする大谷選手に憧れて、二刀流の城間で日々成長を目指していきたいと思ひます。

生活支援員 城間 直哉